

今月は、阿蘇中学校で英語を指導しているセシリオ・ヴァスコンセロスさんの報告です。

「南アフリカと違う日本の体育大会」

阿蘇中学校での私にとって初めての体育大会を振り返ると、たくさんの感動とともに思い出がこみ上げてきます。

私は1学期の初め5月に体育大会があることを聞きました。一週間前から先生や生徒たちは準備を始め、大会の3日前には予行練習を行いました。特に「よさこいソーラン」の練習には多くの時間を費やしました。

体育大会のプログラムは私の母国である南アフリカとまったく異なります。南アフリカでは、ほとんどの学校が前期と後期の2回に分けて体育大会を行います。前期では水泳競技を、後期にはその他の運動種目を行うのですが、そのすべては3～4チームに分かれての生徒たちによるチーム対抗戦です。ダンスをおどったり、先生や保護者が参加したりすることはありません。でもそれでは競技に参加していない人や、応援に来ている人々はあまり楽しくありません。日本の体育大会のようにすればいいのに・・・。

大会当日は朝から雨でしたが、しばらくしてから晴れ、体育大会を開始することができました。多くの地域の人が見に来られ、生徒たちは興奮していました。吹奏楽部の国歌演奏とともに開会され、プログラムが始まりました。いくつかの競技の後、ついに「よさこいソーラン」の時間です（写真）。

色とりどりのハッピーがとても映え、生徒たちはすばらしい演技を見せてくれました。

午後から再び雨が降り出しましたが、生徒たちはこれをものともせずプログラムを続けました。中止の協議がされている間も「続行！」の声が響きました。

結局、雨は降り止まず、体育館に場所を移しましたがすべてのプログラムは行えませんでした。3年生の中には中学校最後の体育大会であることを思い、泣いている生徒も多かったです。

私にとって、すべてがとても感動的な一日でした。



男子全員による「よさこいソーラン」演技

『阿蘇市男女共同参画審議会員川柳』
 気がつけば 女性採用 まるでなし
 子はまだね 挨拶代わりに 又言われ

ASOクリーン作戦へのご協力ありがとうございました！



6月28日、ミルクロード（阿蘇公園菊池線）他2路線で「ASOクリーン作戦」があり、市民の皆さんはじめ地元企業や、民間団体等から36団体、総勢560人の方々が清掃作業に汗を流されました。クリーン作戦は「環境月間」に合わせ、市が毎年実施しているもので、当日は天候不順にもかかわらず、皆様のご協力で、約570kg（可燃ごみ...190kg 不燃ごみ...380kg）ものゴミが集まりました。

また、環境月間中に、地域でも17行政区で、延べ1,400人も区民の皆さんが清掃奉仕活動を行いました。

これからも「捨てない」・「捨てさせない」を合言葉に阿蘇の美しい景観を守っていくためご協力のほどよろしくお祈いします。

参加ご協力いただいた各種団体様の一覧を阿蘇市ホームページに掲載しますので、ご覧下さい。

